地域周辺の状況をマップで確認しよう

まち歩きや防災マップの確認などで、自分が住んでいる地域のことを知り、災害時の課題を検討しましょう。

確認したい主なポイント

- ○ 自宅及びその周辺で想定される被害
- ○ 避難場所の位置
- ○ 避難経路
- ○ 災害時に危険と思われる場所（がけ地、ブロック塀、狭い路地など）

地域の防災訓練に参加しよう

地域（自治会・町内会や地域防災拠点など）では定期的に防災訓練が行われています。いざという時にすぐに正しい行動がとれるよう、防災訓練に参加し、さまざまな体験をしてみましょう。

防災訓練に参加するメリット

- ○ 災害時の対応法を習得できる。
- ○ 地域の人との協力関係が構築できる。
- ○ 地域にどのような人がいて、災害時にどのような課題があるかが見えてくる。

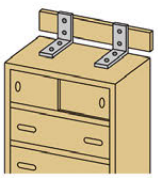


トピック　～ マンションならではの備え ～

マンションなどの集合住宅は、多くの人が暮らしているので、一戸建てとは違ったマンション特有の対策が必要になります。

○家具転倒防止対策

中高層階は低層階に比べて地震の揺れが大きいので、家具などの転倒防止対策は念入りに行う。



○非常時備蓄品

地震でエレベーターが停止すると物資の持ち運びが困難になるので、備蓄品は多めに用意する。



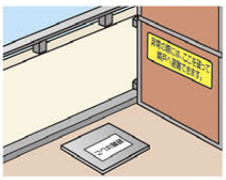
○エレベーター

地震のときはエレベーターは使用しない。使用中に地震が発生したら、全フロアのボタンを押して、止まった階で降りる。



○ベランダ

避難ハッチ（非常脱出口）や蹴破り戸などの使用方法を確認しておく。また、ハッチの上に物は置かない。



○防災・防火設備

共用部分に設置された消火器や火災報知器、貯水槽などの場所を確認しておく。



○管理組合からの連絡

防災設備の点検や防災訓練のお知らせなど、管理組合からの連絡に日頃から注意する。

